令和4年度

放課後子ども総合プラン

事業報告書

令和5年3月

石川県教育委員会

目　次

○放課後子ども総合プランとは　……　1

○放課後子ども総合プランの実施状況　……　2

○放課後子ども総合プラン推進委員会　……　2

○地域と学校の連携・協働の推進に係る研修会　……　3

○放課後子ども総合プラン研修会　……　4

○放課後子ども総合プランに関する研修会　……　5

○放課後子ども教室推進事業　各市町の取組事例　……　7

・金沢市　……　8

・珠洲市　……　11

・加賀市　……　１３

・白山市　……　１５

・野々市市 ……　１７

・中能登町 ……　２０

○地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業
　各市町の取組事例　……　２３

・加賀市　……　２５

・白山市　……　２６

・野々市市　……　２７

放課後子ども総合プランとは

共働き家庭等の「小１の壁」を打破するとともに、次世代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことが出来るように、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型（※）を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を進めるため、「放課後子どもプラン」（平成 19 年度～）に代わり、平成 26 年７月に「放課後子ども総合プラン」が、また、平成 30 年９月に、「新・放課後子ども総合プラン」が策定されました。

国では、全ての児童の安全・安心な居場所を確保するため、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を進めるほか、新たに放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を整備する場合は、余裕教室などの学校施設を徹底的に活用することを目指しています。

石川県では、これまで全ての子どもたちの放課後のため、従来のスポーツ活動や文化活動、子ども会活動のほか、放課後児童クラブや放課後子ども教室の取組などを地域の実情に応じて柔軟に実施するなど、「放課後子どもプラン」を着実に実施してまいりました。平成 27 年度以降は、「放課後子ども総合プラン」として展開しています。

子どもたちの放課後において、地域の人々をはじめとする豊かな社会資源を活用し、子どもたちの様々な体験活動や文化に触れる機会、そして、地域の様々な世代の方々との交流の充実に向けて、今後とも、皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

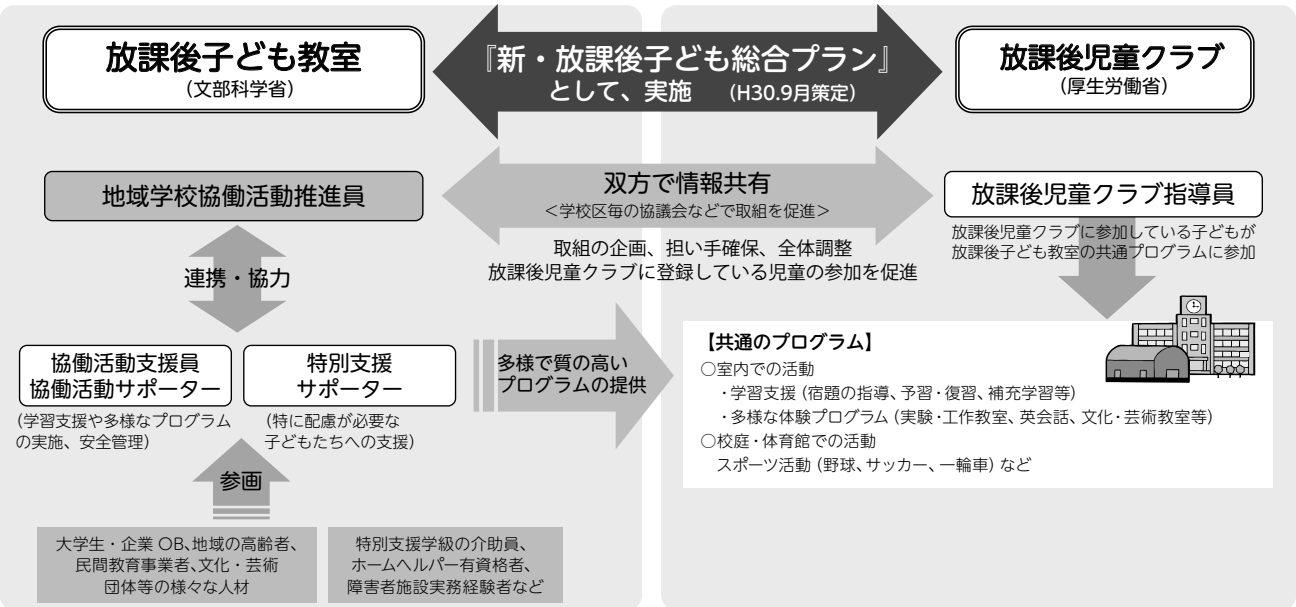
本冊子では、各市町の放課後子ども教室の取組事例を掲載しております。取組の情報を共有し、より魅力ある教室となることを願っています。

※　一体型とは、放課後児童クラブと放課後子ども教室の児童が、同一の小学校内等の活動場所において、放課後子ども教室開催時に、共通プログラムに参加できるものをいう。

放課後子ども教室 ～放課後子ども総合プランの推進～

＜文部科学省事業説明図より＞

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、厚生労働省と連携して総合的な放課後対策を推進



・2023年度までにすべての小学校区で、放課後児童クラブと一体型又は連携型の放課後子ども教室を実施。
うち小学校区で一体型として１万箇所以上で実施することを目指す。

放課後子ども総合プランの実施状況

R5.3.1 現在

放課後子ども教室	
	開設数
金　沢　市	8
七　尾　市	
小　松　市	
輪　島　市	
珠　洲　市	8
加　賀　市	2
羽　咋　市	
かほく市	
白　山　市	1
能　美　市	
野々市市	6
川　北　町	
津　幡　町	
内　灘　町	
志　賀　町	
宝達志水町	
中能登町	6
穴　水　町	
能　登　町	
合　　計	31

R4.5.1 現在

放課後児童クラブ	
	開設数
金　沢　市	１０３
七　尾　市	２０
小　松　市	３５
輪　島　市	１２
珠　洲　市	－
加　賀　市	２３
羽　咋　市	5
かほく市	１３
白　山　市	４１
能　美　市	１９
野々市市	２９
川　北　町	3
津　幡　町	１６
内　灘　町	6
志　賀　町	5
宝達志水町	2
中能登町	5
穴　水　町	3
能　登　町	5
合　　計	３４５

令和４年度石川県放課後子ども総合プラン推進委員会

（1）目的

子どもたちが、安全・安心に過ごすことができるよう放課後対策の総合的な在り方や、土曜日における教育活動の総合的な在り方を検討し、指導員等に対する研修の企画や、事業の検証・評価を行うほか、市町の取組を支援する。

（2）推進委員会委員

委員長	岩木　智子	石川県教育委員会事務局生涯学習課長
副委員長	谷野　明勝	石川県健康福祉部少子化対策監室子ども政策課長
委員	釜土　達雄	石川県放課後児童クラブ団体連絡協議会会長
委員	桑村佐和子	金沢美術工芸大学教授
委員	竹上　　勉	石川県公民館連合会会長
委員	松田　玲子	石川県公立小中学校教頭会幹事
委員	宮坂　　巌	石川県教育委員会事務局学校指導課担当課長
委員	山井　純子	石川県ＰＴＡ連合会副会長
委員	吉川　真季	野々市市立富陽小学校放課後子ども教室運営スタッフ

（3）推進委員会の開催

開催日　令和４年７月１１日（月）　石川県庁会議室

内　容　（1）放課後児童クラブに関する事業について

（2）放課後子ども教室に関する事業について

（3）「新・放課後子ども総合プラン」について

（4）令和４年度放課後子ども総合プラン研修計画について

（5）活動事例発表　「金沢市の放課後子供教室活動について」

金沢市教育委員会事務局生涯学習課　主事　上村　直也　氏

金沢市夕日寺公民館　主事　橋本　春美　氏

（6）意見交換

出席委員のご意見より

・公民館を活用するのは賛成である。公民館活動の中で、子どもたちの見守りなり、教育につながるようなことができれば大変望ましい。

・放課後子ども教室を学校でやっていることで、自分たちが時間があれば、様子を見に行ったりとか、声をかけたりとか、学校では見えない縦の関係を見ることができたりするのでその点はとてもいいと思う。

・児童数が多く、なかなか放課後児童クラブとの連携は難しいが、放課後子ども教室で体験した後に放課後児童クラブへ行くという児童も徐々に出てきている。

・子どもが、親とだけでなく地域の方とも触れあうというのは、とてもいいことだと思うし、ただ家にいるだけではなく、地域の場、友達と学ぶ場というのはとても必要なことだと思うので、きちんと整備していただいて、少しでも多くの子どもが利用できるようにしていただけたらいいと思う。

・保育に欠けるか欠けないかではなくて、放課後の子どもたちの遊びの場所や子どもたちだけの環境の場所を提供する必要性という視点が、これからの放課後児童クラブにとっては絶対に必要になってくる。

・子どもたちが小さい頃に色々な体験をできるということは非常に大事である。学校の限界、家庭の限界がある中で、やはり社会教育ができることは大きいと思う。

地域と学校の連携・協働の推進に係る研修会

開催日　令和５年２月２７日（月）（オンライン開催）

内　容　（1）事例報告

「『子どもは地域の宝』～学校は地域とともに！地域は学校の応援団～」

能美市立福岡小学校長　藤本　智子　氏

能美市立福岡小学校学校ＣＳディレクター　橋本　美緒　氏

（2）講演

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」

文部科学省ＣＳマイスター

高梁市教育委員会事務局社会教育課参事　安田　隆人　氏

参加者　市町教育委員会事務局職員　２５名

放課後子ども総合プラン研修会

[１回目]

日　　時	令和４年 11 月 15 日（火）10:00 ～ 11:30
会　　場	石川県庁会議室
講義・演習	「共生としての学童保育実践を 目指した子どもとのかかわり」
講　　師	金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授　　鈴木　　瞬　氏
参加者数	９０名

＜参加者の声＞

○共生ということを私は理解していなかったことに気づかされ、権力という言葉にドキッとさせられました。子どもに寄り添うということも今まで以上にしていこうと思いました。（児童クラブ関係者）

○子どもたちと一緒に遊び込む、寄り添うなど、わかっていても日々実践するのが難しい状況や環境もありますが、今日からまた意識して関わっていきたいと思います。（児童クラブ関係者）

○子どもの主体性を導き出せるよう、子どもの生活に入り込み、ともに遊びを楽しみ、よく観察することの大切さを改めて痛感しました。共生の場を担う支援員になれるよう明日からの励みになりました。（児童クラブ関係者）

○改善すべきところ、伸ばしたらよいところなどたくさんの気づきがありました。この話を聞いて実践してみようと思いました。（児童クラブ関係者）

[２回目]

日　　時	令和５年２月 13 日（月）10:00 ～ 11:30
会　　場	石川県地場産業振興センター
講義・演習	「『生き方上手・輝き上手』 ～よりよい保護者支援（子育て支援）とは～」
講　　師	金城大学短期大学部 特化教育講師　酢谷　温子　氏
参加者数	８３名

＜参加者の声＞

○当たり前のことがおろそかになっていないか、自分を見つめ直すことができた。「そわかうたし」「さしすせそ」を頭に置いて、子どもと関わりたい。（行政職員）

○短い時間であっても、責任を持って子どもたちとふれあい、配慮することの大切さを改めて感じました。（放課後子ども教室関係者）

○保護者や子どもに対する言葉づかいなどわかりやすかったです。「自分のために」ということも心に残りました。（児童クラブ関係者）

○改めて、支援員としての子どもや保護者との関わりを楽しく詳しく知ることができた。（児童クラブ関係者）

放課後子ども総合プランに関する研修会

◆◆放課後児童支援員等研修事業◆◆

放課後児童支援員等の資質向上を図るため、必要な知識及び技術の習得並びに課題や事例を共有する、初任者向けの研修や中堅者向けの研修等を実施した。

◆趣旨：研修を区分毎に分け、対象者ごとにレベルアップを図るための研修を行う。

◆対象：放課後児童支援員及び補助員、放課後児童クラブ運営管理者、各市町放課後子ども総合プラン担当者、放課後子ども教室関係者

◆研修内容

区分	テーマ	内容	開催場所	開催日	時間	実績	講師
初任	放課後児童クラブや支援員等の役割と仕事	【講義】 放課後児童クラブに求められる役割や支援員等の仕事・心構えを実践的に学ぶ	地場産業振興センター本館　第5研修室	6月23日（木）	10:00～12:00	41	富陽校下学童保育所こうさぎクラブ 放課後児童支援員　村上　晶代
			オンライン研修			122	
	配慮を必要とする子どもと保護者への対応	【講義】 発達障害等配慮を必要とする子どもとその保護者にどのような対応をしていくか具体的な事例を学びながら理解を深める	地場産業振興センター本館　第5研修室	6月17日（金）	10:00～12:00	46	石川県発達障害支援センター 支援課長　酒井　伸吾
			小松市公会堂大会議室	6月16日（木）		30	
			コスモアイル羽咋第1・2研修室	6月15日（水）		5	
			オンライン研修			108	
中堅	育成支援目標に基づく実践とその振り返り	【講義・演習】 1年間を見据えた育成支援目標を基に、実践記録の方法や振り返りなど、1年間を通した実践的な研修を講義とグループワークで行う	地場産業振興センター本館　第5研修室	5月25日（水）	10:00～12:00	71	金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授　鈴木　瞬
			地場産業振興センター本館　第5研修室	9月14日（水）			
			地場産業振興センター本館　第3研修室	12月6日（火）			
	子どもの命を守る支援員の危機管理力	【講義】 災害・事故事例が教える平常時の危機管理対応と非常時の安全行動について学ぶ	地場産業振興センター新館　コンベンションホール	11月2日（水）	10:00～12:00	71	金城大学社会福祉学部 教授　北潟　克輔
			輪島市ふれあい健康センター　検診ホール	11月9日（水）		16	
			オンライン研修			245	
リーダー	子どもの権利擁護、人権尊重	【講義・演習】 子どもの真の声を受け止め、「意見表明権」をはじめとする個々の権利を保障する意義や仕組みを理解し、放課後児童クラブにおける適切な支援につなげる	地場産業振興センター新館　コンベンションホール	11月11日（金）	10:00～12:00	96	金沢星稜大学人間科学部こども学科 教授　川並　利治
共通	自然の中でのあそび～昆虫とのふれあいについて～	【講義】 公園や草むらにいる身近な昆虫とのふれあい方やスズメバチなど危険な昆虫に対する注意点など、自然の中での遊びについて学ぶ	地場産業振興センター新館　コンベンションホール	6月30日(木)	10:00～12:00	77	ふれあい昆虫館 企画展示係長　石川　卓弥
			オンライン研修			139	
	子どものおやつ	【講義・演習】 発達過程にある子どもの成長に合ったおやつの提供について、栄養面や活力面など具体的な事例を用い広く学ぶとともに、3か所のクラブの事例を紹介する	地場産業振興センター本館　第3研修室	2月22日（水）	10:00～12:00	59	(株)森永乳業ビジネスサービス 栄養士　佐藤　香澄 管理栄養士　田原春　真美
			オンライン研修			206	

資質向上研修

認定資格研修

◆◆放課後児童支援員認定資格研修◆◆

◆趣旨

本研修は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（平成26 年厚労省令第63 号。以下「基準」という。）に基づき、基準第10 条第3 項の各号のいずれかに該当する者が、放課後児童支援員として必要な知識及び技能を習得し、有資格者となるための石川県知事が行う研修である。

◆目的

放課後児童支援員としての役割及び育成支援の内容等の共通理解を得るため、職務遂行上の必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識してもらうことを目的とする。

◆対象者

基準第10 条第3 項の各号のいずれかに該当する者で、放課後児童支援員として放課後児童健全育成事業に従事している者、または従事しようとする者

◆研修内容

内　容		講師	実施日時・会場						
			時　間	A 日程			時　間	B 日程	
				金沢 A 会場	小松加賀会場	輪島会場		金沢 B 会場	羽咋中能登会場
1 日目			9/1（木）				9/2（金）		
1－①	放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容	淑徳大学 教授　柏女　霊峰	9:10 ～ 10:40	青少年総合研修センターホール	セミナーハウス あいりす アイリスホール	輪島市 ふれあい 健康センター 会議室	9:10 ～ 10:40	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	ラピア鹿島 第1・2研修室
1－②	放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護	学校法人七尾学院 理事長　釜土　達雄	10:50 ～ 12:20				10:50 ～ 12:20		
2日目			9/9（金）				9/12（月）		
1－③	子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ	金城大学 教授　側垣　順子	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第1研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 ふれあい 健康センター 会議室	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
3－⑧	放課後児童クラブに通う子どもの育成支援	津幡町のびっ子くらぶ 支援員 重木　奈穂美	10:40 ～ 12:10				10:40 ～ 12:10		
3 日目			9/16（金）				9/21（水）		
2－④	子どもの発達理解	金城大学短期大学部 教授　和泉　美智枝	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 ふれあい 健康センター 会議室	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第2研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
2－⑤	児童期（6歳～ 12 歳）の生活と発達	金沢大学 教授　滝口　圭子	10:40 ～ 12:10				10:40 ～ 12:10		
4日目			9/28（水）				9/30（金）		
2－⑥	障害のある子どもの理解	金城大学短期大学部 教授　和泉　美智枝	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 ふれあい 健康センター 会議室	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
2－⑦	特に配慮を必要とする子どもの理解	県中央児童相談所 判定課課長　潟邊 純一	10:40 ～ 12:10				10:40 ～ 12:10		
5日目			10/4（火）				10/ 7（金）		
3－⑨	子どもの遊びの理解と支援	いしかわ子ども交流センター ｾﾝﾀｰ長　橋場　真一	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 ふれあい 健康センター 会議室	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	ラピア鹿島 第1・2研修室
3－⑩	障害のある子どもの育成支援	金沢手をつなぐ親の会 相談支援事業所きずな 課長　笠合　竜明	10:40 ～ 12:10				10:40 ～ 12:10		
6日目			10/12（水）				10/14（金）		
4－⑪	保護者との連携・協力と相談支援	金沢星稜大学 准教授　芥川　元喜	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	小松市公会堂 大会議室	輪島市 ふれあい 健康センター 会議室	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	ラピア鹿島 第1・2研修室
4－⑫	学校・地域との連携		10:40 ～ 12:10				10:40 ～ 12:10		
7日目			10/18（火）				10/21（金）		
5－⑬	子どもの生活面における対応	元石川県養護教諭 中畑　直美	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	小松第一地区 コミュニティ センター 研修室	輪島市 社会福祉 協議会 会議室	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
5－⑭	安全対策・緊急時対応	いしかわ子ども交流センター ｾﾝﾀｰ長　橋場　真一	10:40 ～ 12:10				10:40 ～ 12:10		
8日目			10/25（火）				10/28（金）		
6－⑮	放課後児童支援員の仕事内容	津幡町のびっ子くらぶ 支援員 重木　奈穂美	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	小松第一地区 コミュニティ センター 研修室	輪島市 ふれあい 健康センター 会議室	9:00 ～ 10:30	地場産業 振興センター 本館 第3研修室	コスモアイル 羽咋 第1・2研修室
6－⑯	放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守	学校法人七尾学院 理事長　釜土　達雄	10:40 ～ 12:10				10:40 ～ 12:10		

Zoom によるオンライン配信

放課後子ども教室推進事業

各市町の取組事例

金 沢 市

担　当　課　金沢市教育委員会生涯学習課
住　　所　〒920-8577　金沢市柿木畠１番１号
ＴＥＬ・ＦＡＸ　TEL 076-220-2441・FAX 076-220-2488

運営委員会名（開催回数）	金沢市放課後子供教室コーディネーター連絡会		
構成役職（合計人数）	放課後子供教室関係者、生涯学習課長、生涯学習課担当者、子育て支援課、教育総務課担当者（合計 13 名）		
検討内容	・放課後子供教室の活動について ・放課後子供教室と放課後児童クラブの連携について		
放課後子ども教室箇所数	８箇所	放課後児童クラブ箇所数	１０３箇所（R4.5.1 現在）
小学校区数	５３校区	小学校児童数	２２，２８４人
コーディネーター役職等（人数）	公民館主事、地域住民（8名）		
活動内容	・各教室の企画・運営サポート ・地域の協力者との連絡調整		

コーディネーター紹介

山田恵子さん（夕日寺公民館）

夕日子ども体験教室のコーディネーターとして、今年で 10 年になりました。放課後時間の有効活用だけではなく、その時間が子どもたちにとって豊かなものであることを大切にして活動に取り組んでいます。主に日々の活動の成果を発表し、作品を展示する機会を積極的に作るよう働きかけています。

最近ではコロナの影響で思うような活動ができず悩ましいことが多い中でも、金沢マラソンの沿道応援に参加させて頂いたり、地域銀行のご協力により展示スペースを提供して頂いたりと貴重な活動ができたことに大変感謝しております。そこでは沢山の方々からの子どもたちへの温かなお声かけはもちろん、あるときは思いがけないお褒めの言葉を頂くこともあり、子どもたちにとって励みとなるかけがえのない機会となっていることを更に強く感じています。このようなコロナ禍でも活動を続けてこられた実績を踏まえ、今後起こりうる予測のつかない事態にますます柔軟に対応しながらも、学校と保護者、そして地域全体で子どもを育むこの活動を発展し継続していけたらと思っています。

本事業における成果・今後の予定や課題

地域で子どもを育む活動として地区公民館が主体となり、それぞれ特色あるプログラムを展開している。

今後も豊かな体験活動を通した子どもたちの健全育成を図るとともに、地域の方々との交流を深めながら、地域全体で子育てをする環境づくりを推進したい。

● 夕日子ども体験教室

金沢市

活動場所	夕日寺小学校内
活動日・時間	各教室月１～２回程度、１５：００～１７：００
活動内容	お茶、習字、太鼓、空手、友禅染め、運動
指導者等（スタッフ・運営体制）	教室の指導者は地域の方、保護者は教室のお手伝い
活動の成果	地域の方々を講師に迎え、小学校と連携しつつ、学校では出来ない様々な体験活動を通し、地域全体で子どもを育みながら、安全で豊かな放課後生活を送っている。コロナ禍において、活動の成果を発表する場が減少し心配したが、今年度は提灯行列や展示会、金沢マラソン等、少しずつではあるが発表する機会を設けることができた。
今後の予定	生け花教室と将棋教室の再開を目指して、講師を募集中である。

運動教室

空手教室

太鼓教室

茶道教室

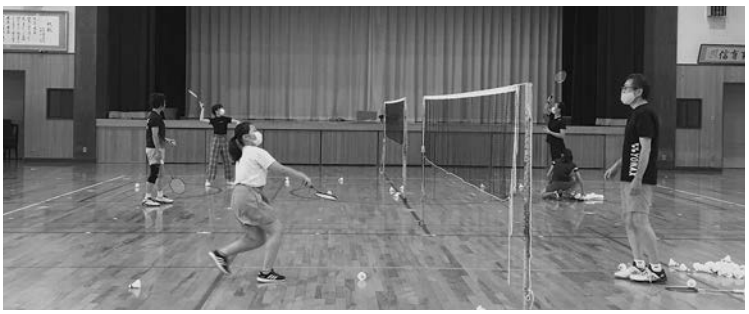
友禅染教室

習字教室

● 米泉放課後子ども教室「こめっ子」

金沢市

活動場所	米泉公民館・米泉小学校体育館
活動日・時間	わいわいクラブ　年５回程度（不定期） バドミントンクラブ　第２・４土曜日 １０：００～１１：３０ スポーツクラブ　月１回程度（第３土曜日）１０：００～１１：３０ 折り紙工作教室　月１回程度（第３土曜日）１０：００～１１：３０ 五色百人一首　月１回程度（第３土曜日）１０：００～１１：３０ 囲碁・将棋教室　夏休み・冬休み
活動内容	わいわいクラブでは、陶芸教室、バス研修（県庁、防災センター見学）、そして、北陸学院大学生との遊びの交流を行った。 スポーツクラブでは、グラウンドゴルフ、モルック、Ｈ．Ｋ．Ｂなどで楽しんだ。
指導者等（スタッフ・運営体制）	公民館職員・公民館体育部役員・学童指導員・子ども会役員
活動の成果	その都度参加を募り、コロナ下でも楽しく活動できた。 毎年恒例の大学生との交流は、状況に応じての交流内容で、参加者はとても満足しているようであった。
参加対象	小学校１年生から中学３年生 令和４年度は、バドミントンスクールに中学生の参加あり。
参加方法・費用	結ネットで申込　費用は、食事代や材料費
放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携	折り紙工作教室の講師は、学童クラブの支援員。
協力団体との連携	校区子ども会連合会



バドミントン教室

県防災センター見学

折り紙教室作品

珠洲市

担　当　課　珠洲市教育委員会事務局生涯学習係
住　　所　〒927-1295　珠洲市上戸町北方１字６番地の２
ＴＥＬ・ＦＡＸ　TEL 0768-82-7826・FAX 0768-82-6630

運営委員会名（開催回数）	珠洲市放課後子ども教室運営委員会（支援員連絡会）（8回）		
構成役職（合計人数）	放課後子ども教室関係者、教育委員会事務局長、教育委員会事務局担当者（合計14名）		
検討内容	・放課後子ども教室の運営について ・各教室運営の情報共有		
放課後子ども教室箇所数	８箇所	放課後児童クラブ箇所数	０箇所
小学校区数	９校区	小学校児童数	３７３人
コーディネーター役職等（人数）	生涯学習係職員（1名）		
活動内容	・活動プログラムの企画、運営 ・地域の協力者の確保、連絡調整		

コーディネーター紹介

放課後における子どもたちの安全安心な居場所を提供するとともに、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに育まれるよう「地域」「家庭」「学校」が連携し、地域で子どもを育てる環境づくりを進めている。これからも地域の方々の協力を得ながら、子どもたちに多様な交流、体験を提供していきたい。

本事業における成果・今後の予定や課題

地域の方々の参画を得た活動プログラムを通して、様々な体験や交流が図られている。

事業の必要性が高まる中で、支援員や指導者の高齢化や人員不足が生じてきていることから活動を継続していくために人材を確保していきたい。

● 珠洲市放課後子ども教室

珠洲市

活動場所	蛸島小学校、若山小学校、みさき小学校、宝立小中学校、 上戸小学校、飯田小学校、直小学校、大谷小中学校　８校
活動日・時間	月曜日～金曜日　放課後～１８：００ 土曜日、春・夏・冬休み　８：００～１２：３０
活動内容	自主学習、俳句教室、将棋教室、生け花教室、お絵かき教室、国際交流、ペタンク等軽スポーツ、工作、公民館事業参加等
指導者等 （スタッフ・運営体制）	支援員、協働活動支援員、地域の方々
参加対象	小学校児童
活動の成果	様々な体験活動や交流活動を通して、子ども同士だけでなく、地域の大人とも交流を深めることができた。地域で子どもたちを育てる意識の高揚も図ることができた。
今後の予定	子どもたちが心豊かでたくましく成長できるよう地域の方々の協力を得ながらプログラムをさらに増やしていきたい。

太鼓教室

写真教室

生け花教室

将棋教室

加賀市

担　当　課　加賀市教育委員会事務局生涯学習課
住　　所　〒922-8622　加賀市大聖寺南町二４１番地
ＴＥＬ・ＦＡＸ　TEL0761-72-7980・FAX0761-73-4824

運営委員会名（開催回数）	加賀市放課後子ども総合プラン運営委員会（1回）		
構成役職（合計人数）	放課後子ども関係者、放課後児童クラブ関係者、学校指導課長、子育て支援課長、生涯学習課長（合計７名）		
検討内容	放課後子ども教室及び放課後児童クラブの活動内容について 放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携と今後の取組について コミュニティ・スクール開始に伴う地域学校協働活動推進員について		
放課後子ども教室箇所数	２箇所	放課後児童クラブ箇所数	２３箇所
小学校区数	１７校区	小学校児童数	2,７６１人
コーディネーター役職等（人数）	放課後子ども教室関係者（3名）		
活動内容	・放課後子ども教室と関係団体との連携促進 ・地域の人材の発掘、育成		

コーディネーター紹介

東出　康江 さん

分散都市である加賀市は、それぞれのコミュニティが独自の文化を持ち、まちづくりをしています。しかし、児童数減少による学校の統廃合も検討され、コミュニティ消滅が危惧されるようになりました。子どもも一緒にまちづくり♪をテーマに、児童の頃から、地域の自然とともに遊び、体験することで、まちで遊べて良かった！という記憶を紡げるよう、専門家や地域の大人との協働も大切にしながら、季節とともに重ねる試みを続けたいと思います。

本事業における成果・今後の予定や課題

活動を続けてきたことで、放課後子ども教室が地域に浸透しており、地域の各種団体との協力関係のもと、地域における子どもの居場所としておおきな成果を挙げています。

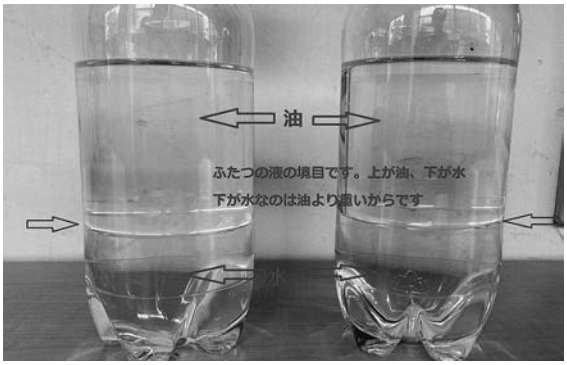
指導者が高齢化してきている教室もあることから、各教室の活動を続けていくためにも、指導者となる人材が求められています。

● 三谷っ子塾

加賀市

塾長・活動場所	塾　長　西谷　重夫 事務局　小谷　清範	市立三谷保育園がＨ３０年３月末で閉園し、直ちに４月より開塾する。小学校から２００m程の良好な立地条件である。
開塾の経緯	以前から、児童の放課後の居場所が求められていた矢先に同場所が閉園となり、保護者からの強い要望と適格な塾長が地区内にいたことから保護者会と事務局役員で協議の上、同年４月より開塾する。	
活動日・時間帯	平日の放課後・１５：００～１８：００の間（長期休暇を除く）	
活動内容	児童は下校すると直ちに三谷っ子塾で宿題を済ませる。その後は園庭や遊戯室で自由に遊び、お互いの協調性を身に着ける。 また月数回程、科学実験を実施して科学について興味を持たせている。また夏休み期間中や特別な天体ショーが有るときは、親子で星座観察会を実施している。	
指導員体制	地区内の教員ＯＢ・大学教員・元保育士・更に小学校に町の先生として登録している方々を含めて現在１１名体制である。日常は３人体制で指導している。 また、毎月定例打合せ会を実施し、問題解決や次月の指導員の輪番を確認している。	
活動の成果	児童保護者からのお便りやアンケートより ①迎えに行っても子どもが帰りたくないと言うなど、子どもの放課後の居場所として安心している。 ②科学実験が有るときは家で楽しそうに話してくれる。 ③今年はコロナ禍でもあり、夏休み中に親子１組毎に天体望遠鏡で星座観察会を実施し、運良く宇宙ステーションがみえた時は歓声が上がった。また、今年 11 月には皆既月食と天王星食を同時に見ることが出来た。	

「紙飛行機、高く舞え」



「洗剤の働き」

洗剤が油汚れを落とす仕組みを考えようとこの実験を行った。反発し合う水と油を混ざり合わせる洗剤の働きを確かめる実験である。

白山市

担当課　放課後子ども教室担当：白山市教育委員会事務局生涯学習課
放課後児童クラブ担当：白山市健康福祉部こども子育て課

住所　〒924-8688　白山市倉光二丁目１番地

TEL・FAX　TEL 076-274-9572・FAX 076-274-1665（生涯学習課）
TEL 076-274-9575・FAX 076-274-9547（こども子育て課）

運営委員会名（開催回数）	白山市放課後子どもプラン運営委員会（1回）		
構成役職（合計人数）	市社会教育委員、小学校校長、市立児童館長、放課後子ども教室実施団体　（6名）		
検討内容	・子どもの放課後の実態把握について ・放課後子ども教室の活動について ・今後の白山市の展開について		
放課後子ども教室箇所数	１箇所	放課後児童クラブ箇所数	４１箇所
小学校区数	１９校区	小学校児童数	６，１３４人
コーディネーター役職等（人数）	白山市職員（１名）		
活動内容	各教室との連絡調整、事業企画等の視察・助言		

コーディネーター紹介

生涯学習課職員が各教室と連絡を取り合い、円滑な教室運営となるよう努めていきます。各教室がそれぞれの地域の特色を生かせるよう、住民主体のこの活動を私たちも支えていきたいと思います。

本事業における成果・今後の予定や課題

子どもたちにとって学校外でも安全・安心な居場所が確保される。そして、子ども同士の交流が深まるだけでなく、各地域の特色を生かした活動を通して子どもと地域住民との間に繋がりが生まれる。また、その活動の中で地域の伝統や文化、遊び方を大人から学び、地域の愛着心を育む。

放課後子ども教室の認知と理解。安定的に参加する子ども、指導・協力していただける地域住民の確保。

● キッズかがのクラブ

白山市

活動場所	加賀野体育館、加賀野公民館他
活動日・時間	主に毎週水曜日１５：００～１７：００
活動内容	ニュースポーツ体験、走り方講座、ミニコンサート、水遊び 年賀状づくり、工作教室、夏休み勉強会、英語教室、卓球、スカットボール
指導者等 （スタッフ・運営体制）	ぴぃすく美川職員、地域住民、地域の教員及び教員ＯＢ、国際交流員 加賀野郵便局職員、公民館職員他
活動の成果	からだを動かすプログラムを中心に活動を行った。コロナ禍の影響で主な指導者を地域住民から NPO 法人（特定非営利活動法人）へ変更していたが、コロナ禍前のように地域住民を指導者とするプログラムも導入し、地域交流を推進することができた。
参加対象	加賀野地区の小学校１、２、３年生
参加方法・費用	・対象児童全世帯に募集案内送付 ・1,000 円（スポーツ保険料 800 円＋活動費 200 円）
今後の課題	小学校・保護者との連携、指導者の人材確保、コロナ禍の安全管理

走り方講座

ミニコンサート

水遊び

英語教室

野々市市

担　当　課　野々市市教育委員会事務局生涯学習課
住　　所　〒921-8510　野々市市三納１丁目１番地
ＴＥＬ・ＦＡＸ　TEL 076-227-6117・FAX 076-227-6258

運営委員会名（開催回数）	野々市市放課後子どもプラン運営委員会（1回）		
構成役職（合計人数）	生涯学習課長、子育て支援課代表、放課後子ども教室コーディネーター、放課後子ども教室代表、放課後児童クラブ代表（２名）、土曜日等の教育活動代表		
検討内容	放課後子ども教室の運営について 土曜日等の教育活動の運営について 放課後子ども教室、土曜日等の教育活動、放課後児童クラブの現状 放課後子ども教室、土曜日等の教育活動、放課後児童クラブの課題		
放課後子ども教室箇所数	６箇所	放課後児童クラブ箇所数	２９箇所
小学校区数	５校区	小学校児童数	３，３２１人
コーディネーター役職等（人数）	野々市市家庭教育サポーター（１名）		
活動内容	・ボランティア　・地域の協力者の募集 ・放課後子ども教室、講師等の連絡調整		

コーディネーター紹介

川上　秀子 さん

コロナ禍対応３年目でようやく従来どおり、各校下での実施になりました。しかし、感染防止対策を行いながらの活動は、事業内容を含め、講師、スタッフに負担をかけることもありました。

活動は、外部団体の協力も得られ、コロナ禍で制限のある中での事業としては、充実した内容になりました。参加児童の保護者からも高評価をいただいており、やりがいを感じています。

本事業における成果・今後の予定や課題

本年も多くの申込があり地域に根付いた事業となっている。コロナ禍により活動に制限はあるものの、スタッフと子ども達が一緒に楽しめる催しを協議、考案し、みんなが笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができた。

教室によっては、スタッフの確保に苦慮することもあるが、今後も、活動を維持できるスタッフ数を確保しながら、新しい催しを考案しつつ、活動の幅を広げていきたい。

● 野々市小学校放課後子ども教室

野々市市

活動場所	学びの杜ののいち　カレード
活動日・時間	毎週水曜日　１５：４５～１６：４５
活動内容	いきもの道場、野々市クイズ、七夕工作、ゴミ検定、リサイクル教室、フラワーアレンジメント、出前文庫、お茶会、ネイチャーゲーム、英語であそぼう、お正月遊び　など
指導者等（スタッフ・運営体制）	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費３，３００円（年会費　保険料を含む）
活動の成果	放課後の限られた活動時間だが、様々な体験活動を通じて子ども同士はもちろんスタッフとも交流を深めることができた。また、地域の方々にも協力していただき、安全・安心な子ども教室を実施することができた。

出前文庫

いきもの道場（こい）

● 御園小学校放課後子ども教室

野々市市

活動場所	野々市市女性センター　小体育室
活動日・時間	毎週水曜日　１５：４５～１６：４５
活動内容	ゲーム大会、エコ工作、出前図書、野々市クイズ、防災教室、いきもの道場、英語であそぼう、ゴミ検定、フラワーアレンジメント、ネイチャーゲーム、お茶会　など
指導者等（スタッフ・運営体制）	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費３，３００円（年会費　保険料を含む）
活動の成果	さまざまな体を動かす活動や体験活動を多く行うことで、子どもたちが元気に放課後の時間を楽しむことができた。

英語であそぼう

お茶会

● 館野小学校放課後子ども教室

野々市市

活動場所	野々市市押野公民館　ホール
活動日・時間	毎週木曜日　１５：４５～１６：４５
活動内容	まちめぐり、シャボン玉、いきもの道場、出前文庫、エコリサイクル、施設見学、ネイチャーゲーム、フラワーアレンジメント、野々市クイズ、音楽の日（オカリナ）、英語であそぼう　など
指導者等（スタッフ・運営体制）	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費３，３００円（年会費　保険料を含む）
活動の成果	活動場所である施設の特性を生かした活動を行い、子どもたちに様々な体験をさせることができた。また、それを通じて、色々な人と関わりあいを持つことができた。

まちめぐり（北国街道）

フラワーアレンジメント

● 富陽小学校放課後子ども教室

野々市市

活動場所	富陽小学校　小体育館
活動日・時間	毎週水曜日　１４：２５～１５：１５
活動内容	英語であそぼう、万華鏡づくり、いきもの道場、ゴミ分別検定、野々市めぐり、ネイチャーゲーム、グラウンドゴルフ、野々市クイズ、フラワーアレンジメント、お正月あそび　など
指導者等（スタッフ・運営体制）	コーディネーター、協働活動支援員
参加費用	参加費３，３００円（年会費　保険料を含む）
活動の成果	今年度も学校では体験できないような体験活動を、子どもたちと楽しみながら取り組むことができた。

ゴミ分別検定

お正月あそび

中能登町

担　当　課　中能登町教育委員会事務局　生涯学習課
住　　所　〒929-1721　鹿島郡中能登町井田に部50番地
生涯学習センター「ラピア鹿島」
ＴＥＬ・ＦＡＸ　TEL 0767-76-1900・FAX 0767-76-0909

運営委員会名（開催回数）	中能登町放課後子ども教室運営委員会（1回）		
構成役職（合計人数）	教育長、町ＰＴＡ連合会長、町子ども会連絡協議会長 健康保険課担当課長、生涯学習課長		
検討内容	・放課後子どもプランの事業計画について ・放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携について		
放課後子ども教室箇所数	６箇所	放課後児童クラブ箇所数	５箇所
小学校区数	３校区	小学校児童数	７９５人
コーディネーター役職等（人数）	生涯学習課職員：１名、健康保険課職員：１名		
活動内容	放課後児童クラブ、児童館との連絡調整		

コーディネーター紹介

生涯学習課職員が、健康保険課職員と連携及び各子ども教室とも連絡を取り合い、円滑な活動ができるよう相談しながら運営しています。

活動内容については、今後も各教室と相談しながら新たな活動も視野に入れ運営していきたいと思います。

今後も関係機関と連携を取りながら、子どもたちの自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など掲げて子ども達の楽しい時間作りをしていきたいと思います。

本事業における成果・今後の予定や課題

関係機関や子どもたちの意向も聞きながら、楽しい教室になるよう努めていきたい。

活動内容についてはマンネリ化がおこりつつある。今後は新しい企画も視野に入れ、関係機関と協議しながら、子どもたちの興味を引くような企画を考え、安全・安心に活動できる放課後の居場所づくりに取り組んでいきたい。

● ろくせい児童館放課後子ども教室

中能登町

活動場所	ろくせい児童館
活動日・時間	不定期　２時間程度
活動内容	巾ボール教室、防災教室、バドミントン教室、切り絵教室
指導者等（スタッフ・運営体制）	地域協力者
活動の成果	運動や遊びを通じ、子どもたちの自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって活動に取り組むことができた。
参加対象	鹿西小学校児童
参加方法・費用	自由参加で費用は特になし
協力団体との連携	当町で登録されている「まちの先生」のより一層の活用や、地域の協力者を探して、充実した活動を図りたい。
今後の予定	新しい企画を取り入れ、引き続き、子どもたちの安心・安全に活動できる場所・居場所づくりに努めていきたい。

巾ボール教室

防災教室

● とりや児童館放課後子ども教室

中能登町

活動場所	とりや児童館
活動日・時間	不定期　２時間程度
活動内容	英語の読み聞かせ教室、絵画（看板作成）教室
指導者等（スタッフ・運営体制）	地域協力者
活動の成果	運動や体験を通じ、子どもたちが体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって活動に取り組むことができた。
参加対象	鳥屋小学校児童
参加方法・費用	自由参加で費用は特になし
協力団体との連携	当町で登録されている「まちの先生」のより一層の活用や、地域の協力者を探して、充実した活動を図りたい。
今後の予定	内容を工夫して、子どもたちの安心・安全に活動できる場所・居場所づくりに努めていきたい。

英語の読み聞かせ教室

絵画（看板作成）教室

地域の豊かな社会資源を活用した
土曜日の教育支援体制等構築事業について

土曜日の教育活動推進プランとは

平成 14 年に学校 5 日制が完全実施されてから、10 年が経過した頃、学習塾や、習い事、地域行事に参加するなど、様々な経験を積み、有意義な土曜日を過ごしている子どもたちがいる一方、必ずしも有意義に過ごしていない子どもたちも存在するとの指摘がありました。

そこで、文部科学省では、平成 25 年 11 月に学校教育基本法を改正し、学校設置者の判断により土曜授業を行うことを可能としたほか、質の高い土曜授業実施のための支援策や、地域における多様な学習、文化やスポーツ、体験活動など、様々な活動促進のための支援策を講じることにより、子どもたちにとって、より豊かで有意義な土曜日の実現を目指すこととしました。これが土曜日の教育活動推進プランのねらいです。

これを受け、石川県では、子どもたちの土曜日の教育活動を充実させるため、様々な経験や技能を持つ地域の人材・企業等の豊かな社会資源を活用した体系的・継続的なプログラムの実施や、地域と連携した土曜日の教育支援を通じて、土曜日の教育支援体制等の構築を図る、「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を平成 26 年度から開始しました。

今年度は、県内 3 市町において、各地域の特色を生かした活動に取り組んでいただきました。

土曜日の教育支援体制等構築事業における取組事例

錦城バスケットボールスクール

加賀市

活動場所	南郷小学校体育館
活動日・時間	火曜・木曜１８～２０時、土曜・日曜９～１１時
活動内容	バスケットボール指導
指導者等 （スタッフ・運営体制）	加賀市バスケットボール協会の指導者、他スタッフ２名 ライセンスや資格を持っている指導者やスタッフは、専門的な指導もしている。
活動の成果	活動を通して体を動かすことの楽しさを感じてもらい、心身ともに成長できる。学校・学年の垣根を超え、コミュニティーを広げることができる。バスケットボールという競技の専門的な技術を身につけられる。
今後の予定	中学生との交流を増やし、スムーズに次のステージへと繋げられるようにより良い環境を整備していく。
今後の課題	メンバーが増えたので、指導スタッフの不足が懸念される。
活動概要・コンセプト	チームの合言葉は『楽しく一生懸命』。失敗を恐れず、チャレンジできる人材育成を目指す。
参加対象	１年生から６年生までの児童

３Ｘ３のプロの選手をお招きし、
高度な指導を受ける様子

練習の様子

土曜日の教育支援体制等構築事業における取組事例

山島ふるさと塾

白山市

活動場所	山島公民館　他
活動日・時間	土曜日（月１回）　９：３０～１２：００　長期休日は平日開催
活動内容	クラフト　社会見学　伝承事業　親子行事（収穫体験 他）
指導者等	公民館企画運営部、地区の各種団体　各分野の専門講師（地区内外）
活動の成果	全学年を対象に実施することで異学年の交流ができ、低学年の児童をサポートする思いやりの心が見られ、親子行事では、お父さんが積極的に参加していたのが良かった。 また、３年ぶりに地区の夏まつりが行われ、伝承事業の虫送り太鼓や子ども神輿、カンテラ行列も実施できた。
参加対象	松南小学校１年生～６年生（山島地区のみ）
募集方法	松南小学校にお願いし、山島地区の児童にチラシを配布してもらう。
今後の予定	今年度は、夏休みの社会見学が出来なかったが、活動内容を考えて行い、親子で参加する活動も好評だったので引き続き行う。
今後の課題	児童数が年々減少しており、高学年の児童はスポーツ少年団や習い事に忙しくなり参加者が少なくなるので、より多くの参加が見込める活動を検討する。

母の日のプレゼントづくり

父の日のプレゼントづくり

親子梨狩り体験

虫送り太鼓練習

親子で紙芝居

アイシング
クッキーづくり

土曜日の教育支援体制等構築事業における取組事例

こどもミュージアム

野々市市

活動場所	にぎわいの里ののいち　カミーノ
活動日・時間	7月28日（木）　13：00～15：30 8月　2日（火）　9：45～12：15、13：00～15：30 8月　5日（金）　10：00～14：30 8月　6日（土）　10：00～14：30 11月26日（土）　13：00～15：30
活動内容	デザイン工房、アート、音楽、プログラミング、SNS 講座
指導者等（スタッフ・運営体制）	協働活動推進員、協働活動サポーター
活動の成果	子どもたちに学校や家では体験できない活動を提供することができた。
今後の予定	今後も継続的に長期休暇や土曜日に実施していきたい。
今後の課題	対象年齢に合わせたプログラムを組まなくてはならない。
活動概要・コンセプト	子どもたちが自分で感じ、考え、つくり、伝えるという力が培える場で、子どもたちの可能性を引き出したい。安心安全が前提の、クリエイティブ体験ができる環境を整えることを目指す。
参加対象	市内小学生

令和5年3月発行

石川県教育委員会事務局生涯学習課

〒920-8575　石川県金沢市鞍月１丁目１番地
TEL 076−225−1839　FAX 076−225−1838
http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/index.html